

324) 旅立ち

君と歩いた道がある われを導く星がある
いまふるさとをあとにして 異郷の土へいざ行かん
見知らぬ国のおののきに 心鎮めて旅立たん
はてなき道をいざ行かん 運命(サダメ)の星に導かれ

母のかたみかあの星は 父の姿かあの月は
帰らぬ人の思い出を 胸に刻んでいざ行かん
夜明けの光 昇るまで わが行く道は闇の中
はてなき道をいざ行かん ^{さだめ}運命の星に導かれ

わが志はたすまで 二度と帰らんこの道を
門出に百合の花一輪 うつむき顔で咲いている
わが青春の旅立ちを 飾っておくれ野の花よ
はてなき道をいざ行かん 運命の星に導かれ

別れのつらさいつまでも 涙の奥にやきつけて
たかぶる心いつまでも 記憶の中にとどめよう
わがふるさとを ^{いしづえ}礎に 異郷の土に根を張ろう
はてなき道をいざ行かん 運命の星に導かれ

ああわれは行くこの道を 運命の星に導かれ
異国の土にわれ一人 ^{いのち}生命たくそうこの星に